

# 職員の感染防止には N95マスクとアルコール が重要です

- 陽性者対応は、N95マスク・フェイスシールドで、職員は眼・鼻・口を守って！
- ウイルスが付いているかもしれない手で自分の顔を触らないように！
- 処置の前にも、後にも、アルコール消毒を！
- 咳している人に正面から近づかないように。
- 今、陰性でも数時間後は陽性かも！ クラスタ内では陰性を過信しないで。

# 陽性者が出る前に N95マスクをご準備ください！

陽性者が出てからの注文では  
職員の感染を防げません

陽性者対応はもちろん、  
接触者検査や有症状者検査で抗原検査の際  
陽性者と接触度が高かった入居者さん対応時にも、N95マスクを

# N95マスク

いろいろあります

1) カップ型



2) 3つ折



3) くちばし型



**1** マスクをパッケージから取り出し、上下を確認、左右に広げカップ型にします。ゴムバンドが下にたれるように、カップ状に持ちます。



**2** ノーズクリップを上にしてマスクが顎を包むようにかぶせます。



**3** マスクをしっかり押さえながら上側のゴムバンドを頭頂部につけます。



**4** 次に、下ゴムバンドを頭頂部を経て、首の後ろにまわし、マスクの位置を調整します。

**“頭頂部”がコツ。**耳にかけるとずれやすい。



**5** 両手の指でノーズクリップが鼻に密着するように軽く押し、鼻の形に合わせます。



**6** [ユーザーシールチェック] 両手でマスクを覆い、空気の漏れをチェックして密着の良い位置にマスクを合わせます。

# 【N95マスクのシールチェック】 (=密着できているかの自己チェックです)



①両手でマスクを覆い、  
息を吸ったり吐いたり  
します。

②空気の漏れを  
チェックします。



④チェックを繰り返します。



③空気が漏れている場合は、  
ゴムバンドや鼻当てを調整し、  
密着の良い位置にマスクを  
合わせます。

**ワンポイント!!**

ノーズワイヤが鋭角  
になると、頂点に隙  
間ができてしまうの  
で注意!